

実施報告書

「学ぶ、感じる、やってみる」ことで進む 資源循環体験プログラム

株式会社ごみの学校

目次

- P3 本事業の目的（本事業の背景・位置づけ）
- P4 本事業の取組み①（プログラムの詳細）
- P5 本事業の展開②（ごみ・ひとの情報ポータル）
- P6 本事業の実施体制／スケジュール
- P7 事業実施内容（12月15日資源循環体験プログラム学ぶ編）
- P8 事業実施内容（1月17日感じる編：工場視察）
- P9 事業実施内容（1月25日資源循環体験プログラム学ぶ編）
- P10 事業実施の様子（1月29日実行する編）
- P11 事業実施内容（情報ポータルの作成）
- P12 事業実施内容（記事/動画の作成）
- P13 今後の展開

本事業の目的（本事業の背景・位置づけ）

■ 本事業の背景・位置づけ

株式会社ごみの学校（以下ごみの学校）・株式会社アイクリエイトが運営を行う「社会課題解決に向けたサステナブル人材のコミュニティ」「Planners」は本事業において「学ぶ、感じる、やってみる」ことで進む資源循環体験プログラムを構築し、実装を目指します。東京都においてプラスチックの水平リサイクルやワンウェイプラスチックの削減に向けて取組を進めていく中で、多くの企業担当者が、ごみやプラスチックリサイクルのことを深く理解している状態ではない。そこで、本事業では①学ぶ・②感じる・③やってみる・④実行するの4つの情報提供の場を東京都内の社会人向けに提供することで、資源循環の課題を自分事化しながら、課題に対して正確な計画を立て実行していく機会をつくり、東京都でのプラスチックに関する取組を推進していくことに貢献していくことを目的として事業の推進を行った。

東京都において推進したいこと

プラスチックの水平リサイクル



ワンウェイプラスチック削減



■ 企業が抱える課題

課題があるのはわかるが、何をどのように解決していいかわからない…
調査や工場見学の実施などリソースが不足し情報が不足している…
社員が自分事化できておらず、実行に向けてうまく進んでいない…

課題の打ち手

資源循環体験プログラム



対象：東京都内社会人（ビジネスマン・自治体・大学）
期間：11月-2月末
内容：プラスチックにかかわるテーマを軸に学びの場を提供

本事業の取組み①（プログラムの詳細）

本事業では、①学ぶ・②感じる・③やってみる・④実行するの4つの情報提供の場を東京都内の社会人向けに提供することで、資源循環の課題を自分事化しながら、課題に対して正確な計画を立て実行していく機会をつくることを狙いとしている。

資源循環体験プログラム

①学ぶ（座学・ワークショップ実施）



プラスチック 座学



オリジナル開発カードゲーム

②感じる（リサイクル関連施設見学）



自治体
リサイクル施設見学



プラスチック
焼却処理施設見学



プラスチック
リサイクル施設見学

③やってみる（リサイクル体験）



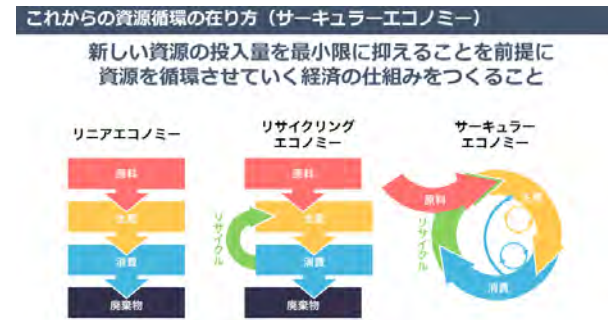
プラスチック分別体験



プラリサイクル体験



④実行する（座学：自社での取組計画検討）



サーキュラーエコノミー座学



取組計画の検討

本事業の展開②（ごみ・ひとの情報ポータル）

今回のプログラムで得た情報やプログラムでのワークショップや視察の様子や、参加者や資源循環に関する技術を持つ業者をつなぐ情報ポータルを作成することで、有益な情報を広く提供する仕組みをつくっていきたいと考えている。外向けにも本プログラムの情報を発信することで、プログラム参加者以外へも興味関心を向けてもらうきっかけをつくっていく。

情報ポータルの製作

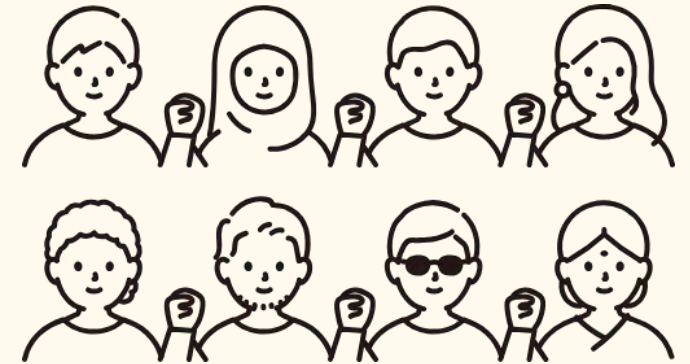
ごみに関する情報



プログラムの様子や情報などを提供



ひとに関する情報



参加者を中心とした人的ネットワーク

外向けに情報を発信することでプログラム参加者以外へ
興味関心を向けてもらうきっかけをつくる

本事業の実施体制／スケジュール

■ 本事業の実施体制

ごみの学校とPlannersにてプログラムの共同運営を行う予定している。
参加者集客は丸の内周辺のビジネスコミュニティ運営をしているコミュニティセンターや東京都内大手企業にも集客協力を依頼した。

ごみの学校



Planners

全体統括
事業の実施運営
(座学・ワークショップ等)

企画共同運営
(PR・ポータル製作)

■ 集客協力予定先

東京都内コミュニティラボ



東京都内大手企業
(サステナビリティ部署より全社公募)



ごみの学校コミュニティメンバー
(2023年10月時点2300名)

ごみの学校

■ スケジュールイメージ

本事業採択後参加者の集客を実施し、12月・1月に研修プログラムを行った。

11月

- プログラムの決定
- 参加者の集客

12月

- 座学／ワークショップ実施
(①学ぶ)
- 工場見学の実施
(②感じる)

1月

- リサイクル体験実施
(③やってみる)
- 研修企画の実施
(④実行する)
- 事業実施の効果検証
- ポータル製作

2月

- 報告書まとめ
- 事業成果物提出
- 対外的に事業成果の発信

事業実施内容（12月15日資源循環体験プログラム学ぶ編）

2023年度サーキュラーエコノミーの実現に向けた社会実装化事業選定事業

「学ぶ、感じる、やってみる」で学ぶ

資源循環体験プログラム【学ぶ編】

3×3 LAB Future

2023.12.15(金)

9:30 - 11:30



主催

開催日時：2023年12月15日9：30－11：30

開催概要

- ・リサイクルマスターカードゲーム
- ・プラスチック循環に関する座学

開催場所：3×3 LAB Future

参加人数：52名

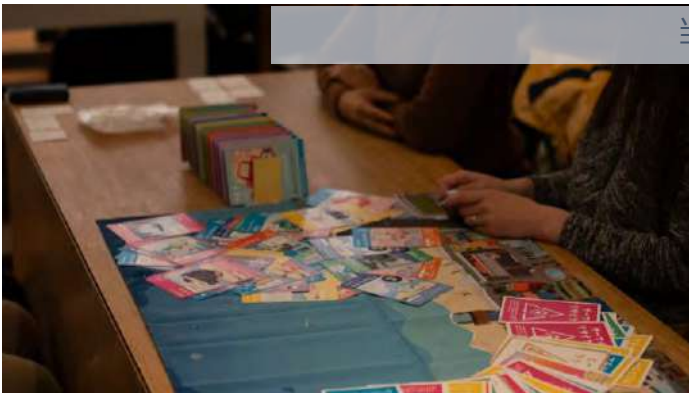
主催：ごみの学校/アイクリエイト

まとめ

初回ということもあり、まずはプラスチックリサイクルの基本をカードゲームを通じて学習してもらう場をつくった。また、プラスチック循環の課題なども整理することで正しい情報をインプットすることにもつながった。参加者同士の交流も行うことができ、満足度が高い結果となった。

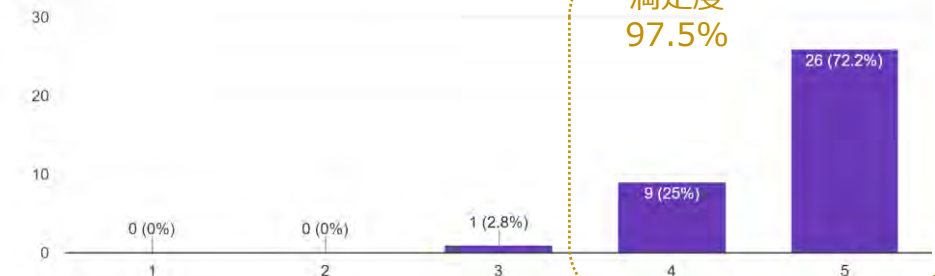
アンケート結果と参加者の声

当日の様子



セミナー内容について分かりやすかったですか？

36 件の回答



満足度
97.5%

カードゲームがすごく楽しくてまた、やりたいと思いました！
説明も画像などが入っていてとても、わかりやすかったです🌟

これからの入りとして、素晴らしいプログラムかと思います。波を作り出すのもこのような場が必要と感じました。ありがとうございました。

とても分かりやすく勉強になったのと、自分事として捉えやすく参加して良かったです。

情報量満載で、面白かったです。

聞きそびれていたかもしれませんが、ビニール袋有料化して、プラごみがどのくらい減ったのかなどのデータがあれば教えて欲しいなあと感じました。

どのような施策がゴミが減るきっかけになるのか知りたいです。

事業実施内容（1月17日感じる編：工場視察）



開催日時：2024年1月17日10：00－16：00
見学先

- ・セイコーインターナショナル
(プラリサイクル工場)
- ・東京都品川清掃工場

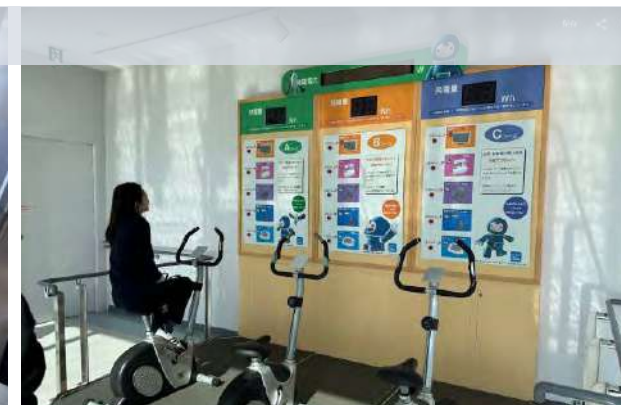
参加人数：5名（受入都合により少数参加での開催）

まとめ

プラスチックがどのように処理されているのかなどを把握するために、品川清掃工場とプラリサイクルを行っているセイコーインターナショナル千葉工場へ訪問。現場の情報を把握することができ学びが深い工場視察となった。



東京都品川清掃工場見学の様子



セイコーインターナショナル見学の様子



事業実施内容（1月25日資源循環体験プログラム学ぶ編）



開催日時：2023年1月25日13：30－16：30
開催概要

- ・リサイクル体験ワークショップ
- ・プラスチックリサイクル技術に関する座学

開催場所：3×3 LAB Future

参加人数：45名

協力：ガリレオ工房

まとめ

プラスチックがどのような技術で処理されているかを知るためにワークショップ中心の会を開催。科学分野のワークショップ経験の強いNPO法人ガリレオ工房にも協力を依頼して、満足度の高い結果を得ることができた。

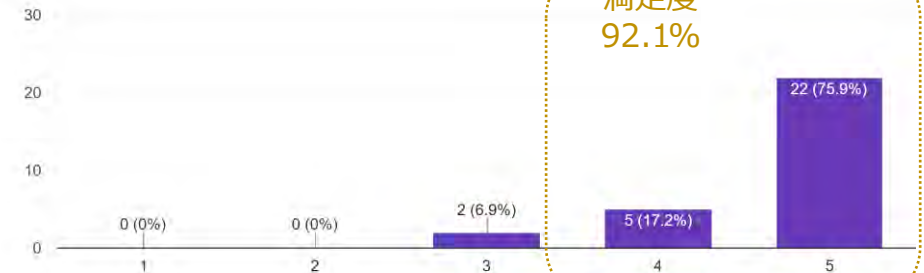
当日の様子



アンケート結果と参加者の声

セミナー内容について分かりやすかったですか？

29件の回答



リサイクルという言葉はたくさん聞くけれど実際にどのように行われているのかは全然知らなかったので、実際に体験しながらできたことが楽しかった。

素晴らしいワークショップでした。

ごみ処理の実際の現場のことがわかり、勉強になりました。

実験を交えた内容で非常に分かりやすかった

私個人としても、所属企業としても非常に興味深い内容でした。ぜひ、引き続き情報交換させていただきたいです。

リサイクル体験機材



事業実施の様子（1月29日実行する編）

2023年度サーキュラーエコノミーの実現に向けた社会実装化事業選定事業

「学ぶ、感じる、やってみる」で学ぶ

資源循環体験プログラム【実行する編】

サーキュラーエコノミー
カードゲーム体験会

3×3 LAB Future

2024.1.29(月)
13:30 - 16:30

開催日時：2023年1月29日13：30－16：30

開催概要

- ・サーキュラーエコノミーカードゲーム
- ・サーキュラーエコノミーに関する座学

開催場所：3×3 LAB Future

参加人数：32名

まとめ

開発中のサーキュラーエコノミーカードゲームを用いて、事業の課題や、市民の課題などを理解しながら自社で事業開発を行っていくことを体験してもらった。カードゲームがプレ版ということもあり、理解度は他の回と比較すると低い数字になったが参加者の声は良い気づきが得られたという意見が多く、次の反省につなげたい。

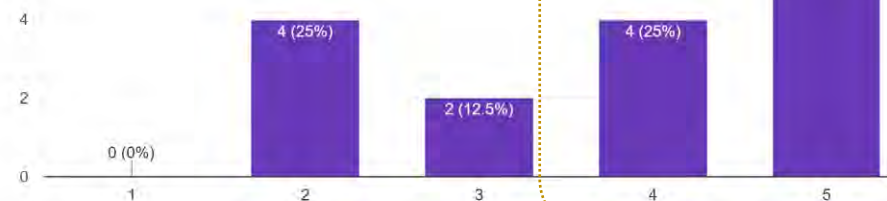
当日の様子

アンケート結果と参加者の声

セミナー内容について分かりやすかったですか？

16件の回答

6カードゲームがプレ版ということもあり、難易度、ゲーム構成として課題が残った。



サーキュラーエコノミー実現の難しさ、ヒントを体感出来た

とても考えさせられる体験でした。ファシリの方の文言や全体の構成がとても良く、刺さります。すぐく打ち解けますし、戦略的で、よく考えさせられます。

カードゲームを通じて資源循環社会実現の難しさや助け合いの大切さ学びました

自社のゴールと他社のゴールを理解すること、自社にしかない強みに気付くこと、各企業の課題を理解し共に解決していくことなど、日頃の企業のあり方、仕事の仕方に反映できることがとても多く、ハッとさせられました。

実世界をよく反映していて、考えさせられるポイントが多いのがよかった。この場で終わりではなく今後も考えたいポイント、課題を他の人からももらえた。

事業実施内容（情報ポータルサイトの作成）



「学び、感じ、行動する」で学ぶ

資源循環体験プログラム

私たちに

これまで資源循環のプロフェッショナルとして、様々な企業のリサイクルやプラ削減をサポートしてきた中で、こんな課題・悩みを多く聞いてきました。

- ✓ 課題があるのはわかるが、何をどのように解決していいかわからない...
- ✓ ごみやプラスチックリサイクルのことを深く理解できていない...
- ✓ 調査や工場見学の実施などリソースが不足し情報不足している...
- ✓ 社員が自分事化できておらず、実行に向けてうまく進んでいない...

そこで、「資源循環体験プログラム」を立ち上げました。
このプログラムでは、「学ぶ」「感じる」「やってみる」「実行する」の観点から資源循環の課題を自分事化し、行動につなげていく機会を提供します。

基礎プログラム

プラスチックごみをはじめとする資源循環の課題を自分事化しながら、課題に対して正確な計画を立て実行していく機会をつくるために、以下6つの情報提供の場をまずは東京都内の社会人向けに提供する「資源循環体験プログラム」を実施しています。

※このプログラムは、公益財団法人 東京都環境公社 環境共生部 東京サキュラーエコノミー推進センター から補助をいただき、現在はテストプログラムとして実施しております。



「資源循環体験プログラム」
情報ポータルへのアクセスはこちら

本プログラムでの取組や学び、ネットワークを広げていくための情報ポータルサイトの作成を行った。本ページ内に、取材記事やイベント開催時の動画などのリンクを張り付け、イベントの様子や情報がわかるように整理することができた。

今後さらに同様のプログラムを広げていくことで広くプラスチック循環の情報を世の中に発信していきたい。

1/ 学ぶ

ごみやプラスチックリサイクルの基本知識から、廃棄物処理に関する法律などを、座学やワークショップを通じて楽しく学びます。



3/ やってみる

プラスチック分別の実践や、廃プラをリサイクルして新たなモノを作ってみる体験など、実際に手を動かしてやってみます。



2/ 感じる

リサイクル関連施設を実際に訪れるツアーを開催。見て、聞いて、体感して、資源循環への理解を深めます。



4/ 実行する

より実践的な情報や事例などを学び、多様な業界・役職の方と意見を交わしながら、自社での取り組み計画を検討します



事業実施内容（記事/動画の作成）

体験プログラムの様子を記事と動画としてアーカイブを作成した。アーカイブすることで、次回以降の参加者に向けてイメージを持ってもらいやすいと考えている。

また、本アーカイブを作成することで企業内での研修の企画や別のプログラムの企画を並行して検討していきたい。



残り50年で東京23区の埋立地はなくなる「資源循環体験プログラム」工場見学レポート

Plannersは、ビジネスマン・主婦・子どもまで幅広い世代がごみのことを正しく知る場を提供する「資源...



プラスチックごみの現状を楽しく学ぶ「資源循環体験プログラム」

Plannersは、ビジネスマン・主婦・子どもまで幅広い世代がごみのことを正しく知ることができる場を提供するごみの学校と共催し...



イベント当日の動画



学ぶ編

動画へのアクセスは
QRコードを読み込み



やってみる編

動画へのアクセスは
QRコードを読み込み



実行する編

動画へのアクセスは
QRコードを読み込み

今後の展開

今後の展開として、来年度以降も同プログラムを東京都内で定例プログラムとして開催していきたい。
また、他のテーマとして、食品廃棄物や衣類ごみなど、その他の廃棄物についても学びを深められるような研修の機会を提供していきたいと考えている。

東京都内での研修の定例化



研修コンテンツの展開



食品廃棄物



衣類ごみ

本研修プログラムは毎年数回定期的に実施する
内容として、多くの実践者を生み出す機会を提供したい

食品廃棄物や衣類ごみなど、今後幅広い廃棄物に
についても同様に学んでもらえるコンテンツの展開を予定